

2016年

# 北海道社会保障学校 in 苫小牧



参加費 1,500円

2016年**10月10日**  
(月・休日)

時間 9:00 開場  
9:30 開校～16:00 閉校

場所 苫小牧市民会館  
(苫小牧市旭町3丁目2-2)

## 記念講演

## 藤田 孝典氏

聖学院大学准教授

### 略歴

茨城県出身。東京国際大学を卒業後、ルーテル学院大学にて博士前期課程を修了する。  
2003年ごろから、さいたま市を中心に社会的弱者への支援活動を行っている。

€NPO法人ほっとプラス代表理事・反貧困ネットワーク埼玉代表

€ブラック企業対策プロジェクト共同代表・聖学院大学客員准教授

2013年度厚生労働省社会保障審議会特別部会委員

生活保護問題対策全国会議幹事

『ひとりも殺させない - それでも生活保護を否定しますか-』 (堀之内出版、2013年)

『下流老人 - 一億総老後崩壊の衝撃』 (朝日新書、2015年)

『貧困世代 社会の監獄に閉じ込められた若者たち』 (講談社現代新書、2016年)



※午後からは分科会を予定しています。

主催 北海道社会保障学校 in 苫小牧実行委員会  
北海道社会保障推進協議会

電話0144-72-3151  
電話011-758-2648

# 貧困世代

社会の監獄に閉じ込められた若者たち

藤田孝典

若者の現実を  
大人はわかっていない  
**結婚・出産なんて  
「ぜいたく」だ**

学生はブラックバイトで  
こき使われて学ぶ時間がない。  
社会人は非正規雇用や  
奨学金返還に苦しみ、  
実家を出られない。  
栄養失調、脱法ハウス、  
生活保護……  
彼らは追いつめられている。



20万部超のベストセラー  
『下流老人』は序章だった!

講談社現代新書

## 書籍紹介

藤田孝典 著

# 貧困世代

社会の監獄に閉じ込められた若者たち

## 社会構造変えねば解決せず



「若者たちを取り巻く生  
活環境が急速に悪化してい  
る」。昨年出版された『下流  
老人』の著者は指摘します。

15〜39歳の世代を「貧困世  
代」と想定し、このような  
厳しい状況が続くと、この  
世代は将来「下流老人」以  
下の生活をおくることにな  
ってしまうという問題意識  
をぶつけます。

若者の貧困の多くは社会  
が生み出していることに今  
の大人たちはなかなか理解  
できません。

できないと言ひ、非正規労働者、ブラックバイト、奨学金問題などの厳しい実態と問題を生み出す背景をとりあげています。その中で住宅問題は新たな視点として興味深いものがあります。そして、問題解決に向けた具体的な政策の提言とともに、世論や政治・政策が変化し、「社会構造を変えなければ、貧困世代は決して救われない」と指摘しています。筆者が貧困世代と同世代のため、説得力もあります。とくにこの世代を子どもにもつ方々にお勧めしたい一冊です。(松)講談社現代新書・760円+税

## 下流老人〜一億総老後崩壊の衝撃

「アベノミクス」なるもののもとで、格差と貧困が広がり、子どもの貧困、若者の貧困、女性やシングルマザーの貧困など、放置できない問題ばかりですが、なかでも高齢者の貧困問題は「老後破産」などとマスメディアでも取りあげられ、深刻さを増しています。本書も、そのうちの一冊です。

誰もがなりうる「下流老人」

本書がいう「下流老人」とは、「生

活保護基準相当で暮らす高齢者およびそのおそれがある高齢者」のことで、その特徴は、①収入が著しく少ない、②十分な貯蓄がない、③頼れる人間がいらない(社会的孤立)の「3ない」であるとして、「下流老人」の実態をリアルに明らかにします。本書の著者は、ソーシャルワーカーで生活保護や生活困窮者支援のNPO法人「ほっとプラス」の代表ですから、生々しい現実が語られています。

そのうえで、本書の帯に「年収四百万でも、将来、生活保護レベルのくらしに!？」と書かれているように、誰もが「下流老人」になりうる現実的可能性があると具体例で示しています。そのパターンは、

①病气や事故による高額な医療費の支払い、②高齢者介護施設に入居できない、③子どもがワーキングプアや引きこもりで親に寄りかかる、④熟年離婚、⑤認知症でもまわりに頼れる家族がいらないなどです。こうして、老人の下流化が

2016年4月14日  
北海道民医連新聞第471号より

下流老人  
一億総老後崩壊の衝撃  
藤田孝典  
Fujita Takahiro

年収400万でも  
将来、  
生活保護  
レベルの暮らしに!?

朝日新書  
定価: 本体760円+税

「笑顔でくらしたい」第85号より

すすみ、近い将来、「一億総下流の時代」がやってくる」と警告しています。

下流老人を生み出すのは国の責任

本書では、こうして高齢者の危機がせまるなかで、対策が立ち遅れている背景には、私たち自身の「無自覚」の問題があると指摘しています。つまり「自立していないこと」「他者や地域に依存すること」「悪だこみならず意識があまりはしないか」と問題提起しています。そうになっているのは、生活保護受給へのバッシングにみられるように社会的弱者への攻撃が「自己責任」「自己努力が足りない」とい

うところへ追い込んでいるのです。

筆者は、「下流老人を生みだすのは国であり、社会システムである。したがって対策をおこなう主体も国や政府であるべきだ。…貧困に対して真剣に向き合えない国に、未来はない。」と断言し、その立場から、「貧困による悲惨な現実を直視し、当事者の声から社会福祉や社会保障を組み立て直していく」提言を具体的にこなっています。

安倍政権の社会保障切り捨てに對抗していくために、一読に値します。(片岡克己)

## 道学習協 おすすめの 1冊

下流老人  
一億総老後崩壊の衝撃  
藤田孝典  
Fujita Takahiro

年収400万でも  
将来、  
生活保護  
レベルの暮らしに!?

朝日新書  
定価: 本体760円+税

藤田孝典著  
(朝日新書 760円+税)